

# 令和2年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業 第4回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）オンライン

講義：『リハビリテーション』

講師：にこにこ整形外科 院長 伊志嶺 恒洋 氏

○日 時：令和2年9月3日（木） 午後7時30分～9時00分

○場 所：Zoomによるオンライン研修会

○参加者：57名

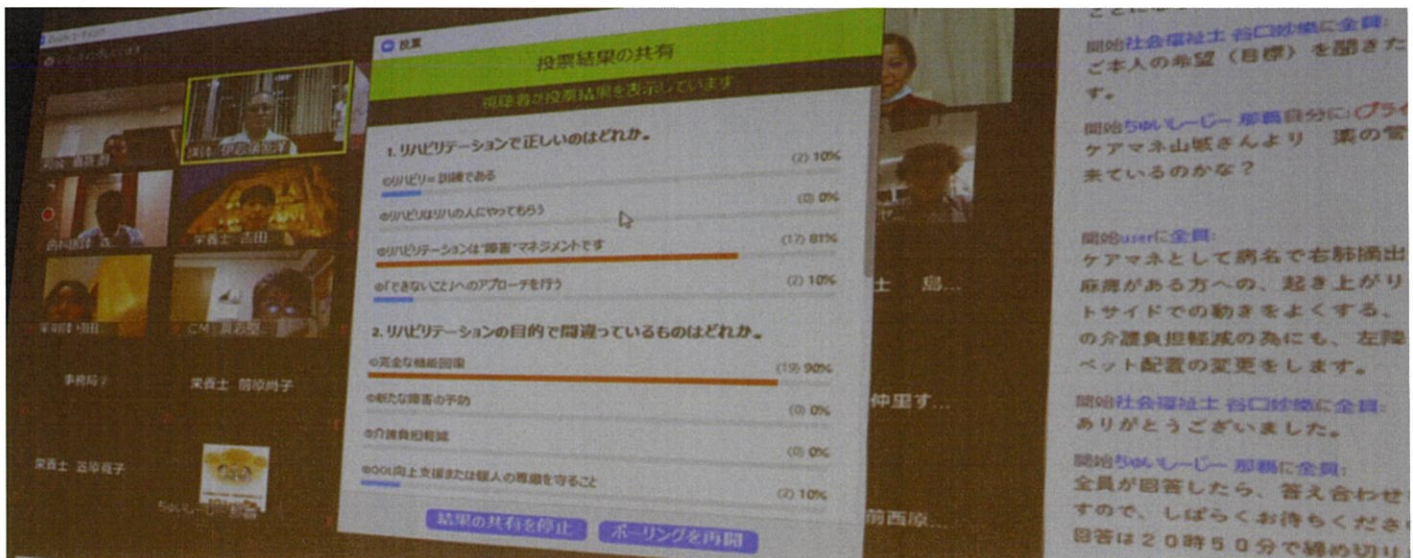
（医師7名、看護師5名、保健師1名、ケアマネジャー・プランナー15名、  
リハビリ6名、薬剤師4名、栄養士9名、社会福祉士3名、介護職3名、その他4名）



司会：嘉数 朗 氏



講師：伊志嶺 恒洋 氏



投票機能を用いて講義に関する小テストを実施しました

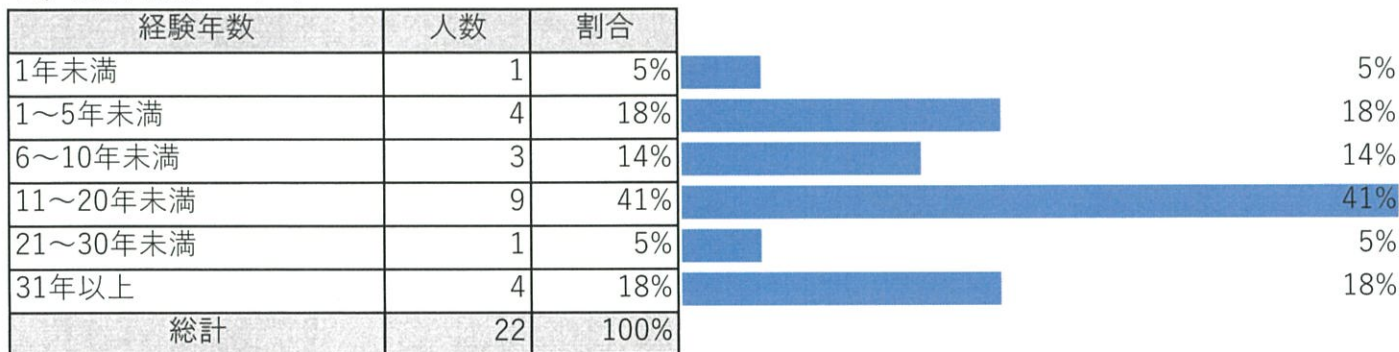
令和2年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
第4回 在宅医療・介護スクラム塾 アンケート結果

日時：令和2年9月3日（木） 19：30～21：00

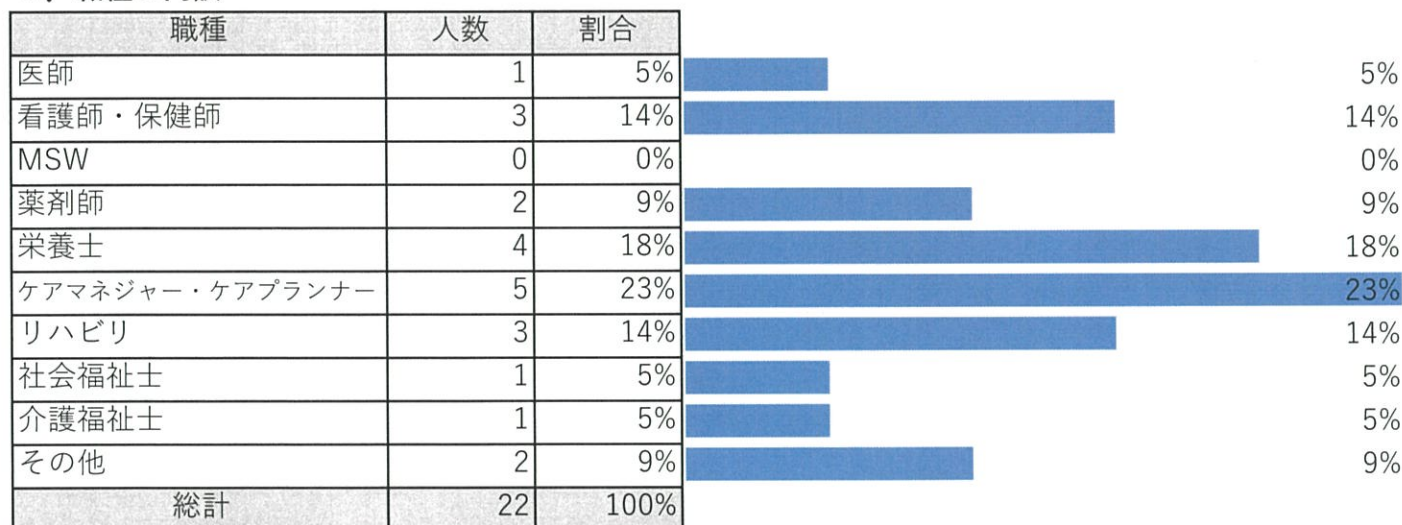
場所：Zoomによるオンライン研修会

参加者：57名（医師7名、看護師5名、保健師1名、リハビリ6名、薬剤師4名、栄養士9名、  
ケアマネジャー・プランナー15名、社会福祉士3名、介護職3名、その他4名）

### 1. 経験年数について

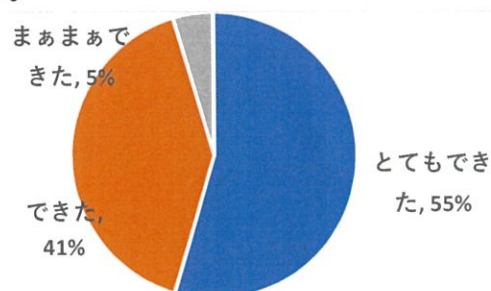


### 2. 職種の内訳



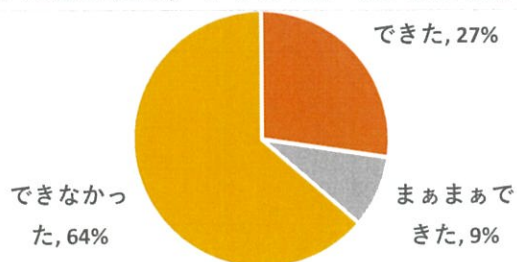
### 3. 在宅医療・介護の視点について学ぶことができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	12	55%
できた	9	41%
まあまあできた	1	5%
できなかった	0	0%
総計	22	100%



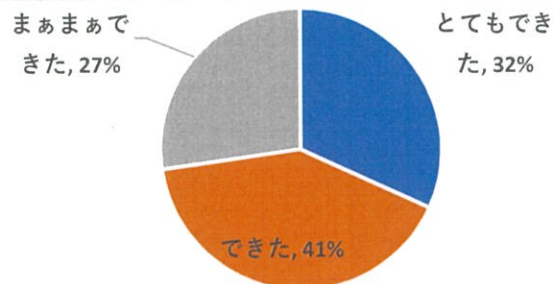
### 4. 事例検討では、ご自身の意見を遠慮なく発言（チャットに書き込み）することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	0	0%
できた	6	27%
まあまあできた	2	9%
できなかった	14	64%
総計	22	100%



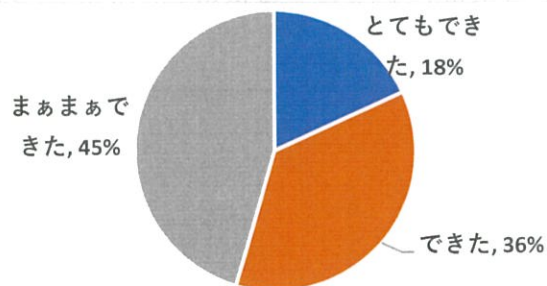
5. 領域別セッション「リハビリテーション」について理解できましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	7	32%
できた	9	41%
まあまあできた	6	27%
できなかった	0	0%
総計	22	100%



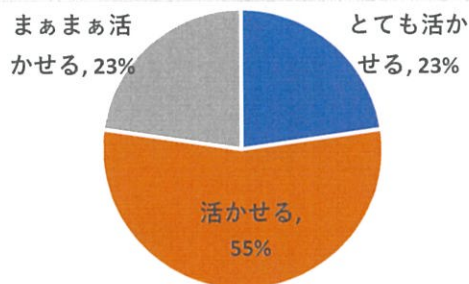
6. 多職種の状況を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	4	18%
できた	8	36%
まあまあできた	10	45%
できなかった	0	0%
総計	22	100%



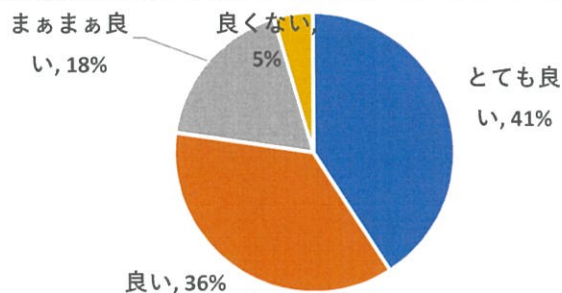
7. 明日からの業務に活かしますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	5	23%
活かせる	12	55%
まあまあ活かせる	5	23%
活かさない	0	0%
総計	22	100%



8. オンライン研修会はいかがでしたか。

選択肢	人数	割合
とても良い	9	41%
良い	8	36%
まあまあ良い	4	18%
良くない	1	5%
総計	22	100%






令和2年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
第4回 在宅医療・介護スクラム塾 小テスト結果

日 時：令和2年9月3日（木） 19：30～21：00



場 所：Zoomによるオンライン研修会

参加者：57名（医師7名、看護師5名、保健師1名、リハビリ6名、薬剤師4名、栄養士9名、  
ケアマネジャー・プランナー15名、社会福祉士3名、介護職3名、その他4名）



1.リハビリテーションで正しいのはどれか。

正解	①リハビリ＝訓練である	2		10%
	②リハビリはリハの人にやってもらう	0		0%
	③リハビリテーションは”障害”マネジメントです	17		81%
	④「できないこと」へのアプローチを行う	2		10%
	合計	21		


2.リハビリテーションの目的で間違っているものはどれか。

正解	①完全な機能回復	19		90%
	②新たな障害の予防	0		0%
	③介護負担軽減	0		0%
	④QOL向上支援または個人の尊厳を守ること	2		10%
	合計	21		




3.国際生活機能分類ICFでは、「障害」をどう定義しているか。

正解	①「いきることの困難」すべて	17		81%
	②自立できていないこと	4		19%
	③不幸	0		0%
	合計	21		

4.在宅リハビリテーションで最も重要だとされるのは次のうちどれか。

正解	①座位リハ	21		100%
	①立位リハ	0		0%
	①歩行リハ	0		0%
	合計	21		

5.対象者のリハビリテーションを検討する際、注目すべき対象者の活動で間違っているものはどれか。

正解	①”障害”	8		38%
	②「できること」	1		5%
	③「できないこと」	12		57%
	合計	21		